



上尾市立大石小学校 令和8年度 校長あいさつ

上尾市立大石小学校長 瀧沢葉子

大石小学校に着任いたしました校長の瀧沢葉子（たきざわようこ）と申します。

今年度、開校140周年を迎える大石小学校の児童が健やかに成長できるよう、誠心誠意取り組んでまいります。どうぞよろしく願いいたします。

大石小学校の学校教育目標は、教育基本法を基本理念として、第4期埼玉県教育基本振興計画（令和6～10年）、第4期上尾市教育振興基本計画「夢を育み 未来を創る 上尾の教育」に基づき、「考える子、思いやりのある子、がんばる子」を掲げています。

児童一人一人が、学ぶ喜びを広げ、思いやりをもって人と関わり、何事にも粘り強く取り組む力を育てる学校教育を目指します。

その実現のために、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を工夫し、児童一人一人が主体的に学習できるよう努めます。また、児童が学校で安心して学べるよう、その基盤となる生活習慣や学習習慣などの「基本的な規律」を家庭・地域と連携して粘り強く築いていきます。

また、情報社会の進展など、児童をとりまく教育は常に変化をしていますが、これまで大切にしてきた普遍的な教育とともに、これらの社会変化に対応した教育にも挑戦していきます。

授業では、読み・書き・計算などの基本的な学習技能とICT端末を組み合わせ、より個別最適な学習や協働的な学習が充実するように工夫していきます。同時に、情報モラルや情報の扱い方などの新たな課題へも、人権意識の醸成を図りながら児童が自律的にデジタル社会と関わる教育も必要です。

さらに、このような時代だからこそ、体験的な学習や友達との思いやりのあるつながり、児童と教師との温かなつながり、保護者との信頼に基づくつながり、地域や社会に開かれたつながり、自然や文化との豊かなつながりなど、学びのネットワークを広げることが大切です。

「目の前の児童のために何が必要で、何ができるのか」を教職員・保護者・地域の皆様と共に考え、協働的に教育活動を工夫していきます。

学校教育は、児童の人格形成の一端を担っているという使命感を強く自覚し、教職員は情熱をもって取り組んでいきます。そのためには教職員が指導力向上の研鑽を積み、心身の健康を保持できるよう、学校の働き方改革も進めてまいります。

保護者、地域の皆様の御理解、御協力を賜りますようお願いいたします。

